実験の概要 神奈川県内の郊外住宅地と観光地の双方で一体的に、複数の交通サービスや生活サービスの検索・決済等ができるMaaSアプリを提供するとともに、交通と生活・観光サービスがセットになったパッケージ商品をMaaSアプリ上で提供する。地域特性を踏まえたパッケージ商品を企画・提供し、公共交通利用促進や交通混雑緩和などの地域の課題の解決を目指す。

協議会の構成員

神奈川県、川崎市、箱根町
小田急電鉄株式会社、小田急バス株式会社
小田急箱根ホールディングス株式会社

地域の交通課題

【新百合ヶ丘周辺地域】

- ・駅前や商業施設周辺、一部幹線道路の交通混雑
- ・居住者の高齢化に伴う駅までの公共交通の利便性の維持向上の必要性

【箱根地域】

- ・自動車による来訪が多く交通渋滞が発生
- ・箱根湯本駅周辺への人の集中による道路の過密

本格的な導入に向けた検証項目、目標値

- ①MaaSアプリの利用実績：
ダウンロード数(2万)、決済件数(5000件)
- ②MaaSのサービスとしてのユーザー評価：
満足度60%以上、サービスの継続利用意向60%以上

実験内容

スマートフォン向けMaaSアプリの構築・提供を通じた、MaaSアプリサービスの効果や需要に関する実証を行う。

○MaaSアプリの対象交通手段：

鉄道、バス、ロープウェイ、ケーブルカー、観光船
タクシー、カーシェア、レンタカー

○現地実証実験期間：2019年10月～2020年3月

○利用料金：

- ・開発したMaaSアプリの利用料は無料
- ・デジタルフリーパスは定額制
- ・タクシー、カーシェアリング、レンタカーは通常料金
- ・公共交通利用と生活サービスや観光施設利用等をセットにしたMaaSアプリ専用の料金体系の提供を目指す

○他地域のMaaSとの連携に向けた取り組み

MaaSアプリケーションへの提供を前提としたオープンな共通データ基盤「MaaS Japan」を構築し、他の交通事業者や自治体等が開発するMaaSのアプリケーションに活用できる形態とする。